

「投資信託及び投資法人に関する法律」が一部改正され、2014年12月1日以降に計算期間(または作成対象期間)の末日を迎えるファンドより運用報告書が「交付運用報告書」と「運用報告書(全体版)」に二段階化されることとなりました。「運用報告書(全体版)」の入手方法につきましては、本表紙の<閲覧方法>をご覧ください。

## イーストスプリング・インド株式オープン

追加型投信／海外／株式

第11期(決算日:2015年9月30日)

作成対象期間(2014年10月1日～2015年9月30日)

第11期末(2015年9月30日)	
基準価額	13,634円
純資産総額	89,835百万円
(2014年10月1日～2015年9月30日)	
騰落率	△1.7%
分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド株式オープン」は、2015年9月30日に決算を行いました。当ファンドは、主としてインドの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### <閲覧方法>

右記[お問い合わせ先]ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書(全体版)」を選択

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

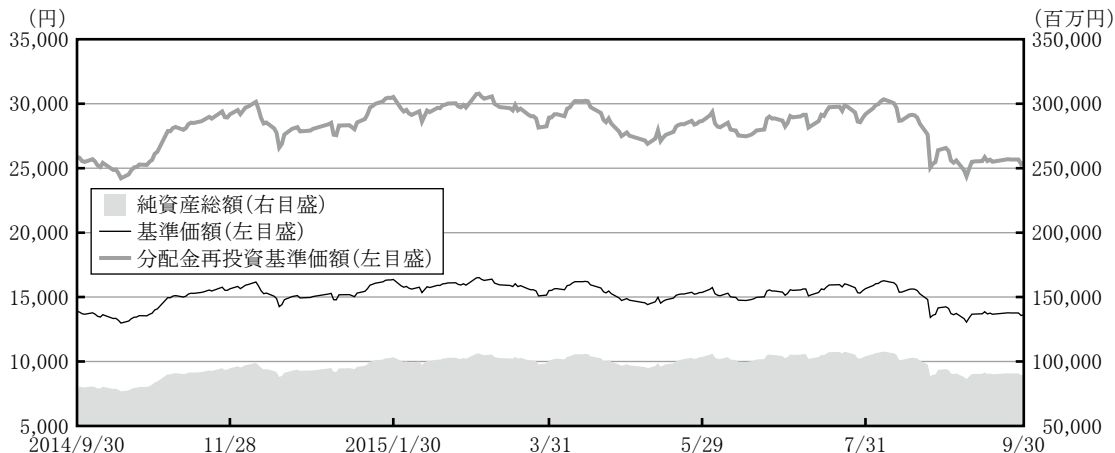
ホームページアドレス: <http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について(第11期:2014年10月1日から2015年9月30日まで)



第11期首	13,874円
第11期末	13,634円(既払分配金0円)
騰落率	△1.7%(分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

期前半は、2014年10月末の日銀の追加金融緩和を受けたインドルピー高円安と、期初から2015年3月までの株高により基準価額は上昇しました。しかし、8月に入って世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景にインド株式は調整し、円高インドルピー安が進んだことを受けて通期では基準価額は下落しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2014/10/1 ～2015/9/30		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	201円	1.325%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、15,142円です。
(投信会社)	( 82)	(0.540)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(114)	(0.756)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 4)	(0.029)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.000)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	( 0)	(0.000)	信託管理事務にかかる手数料
合計	201	1.327	

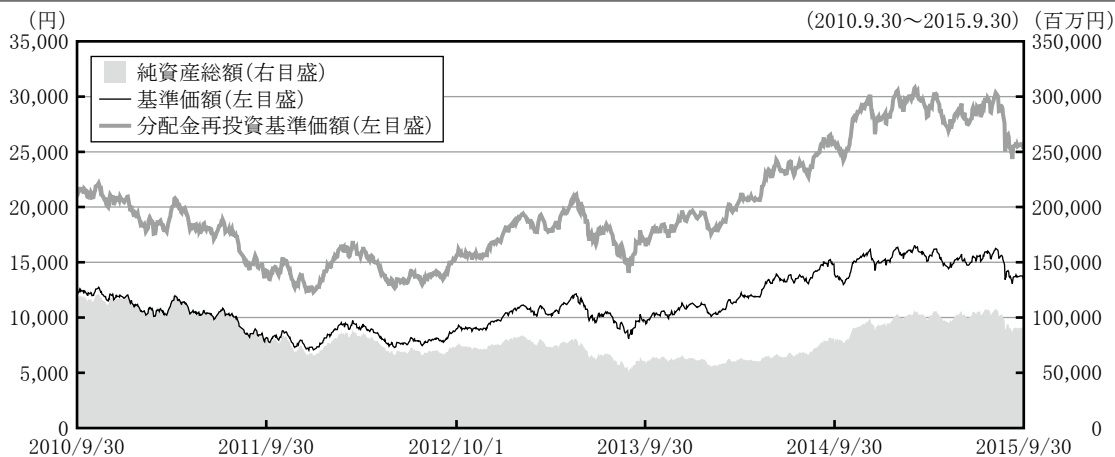
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

\* 当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

決算日		2010/9/30	2011/9/30	2012/10/1	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30
基準価額	(円)	12,126	8,192	8,981	9,695	13,874	13,634
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0	0	0	1,000	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△32.4	9.6	8.0	53.4	△1.7
純資産総額	(百万円)	111,432	80,289	74,752	60,419	76,652	89,835

## 投資環境について

### ○海外株式市況

インド株式市場は期初から2014年11月まで堅調となりました。12月に世界的なリスク回避姿勢の強まりを背景に調整しましたが、2015年1月中旬のインド準備銀行(中央銀行、RBI)の緊急利下げを受けて大幅高となった後、3月初旬まで堅調となりました。しかし、3月後半に年度末を控えた利益確定売りが膨らんだほか、4月後半以降は外国人投資家の間に遡及的な税徴収の可能性に対する警戒感が広がったことなどから株価は下落し、6月前半に追加利下げ期待が後退して一段安となりました。6月後半以降は持直しましたが、8月に世界の景気減速懸念が高まり急落しました。その後は小幅に買戻されて当期末を迎えました。

### ○為替市況

インドルピーは、米国の利上げが意識される中、期初から2015年8月にかけて対米ドルで緩やかな下落傾向となった後、世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に急落しました。対円では、2014年10月末に日銀の追加金融緩和を受けて大幅な米ドル高円安が進行したことからインドルピー高となっていました。2015年8月にインドルピーが対米ドルで大幅安となった局面でインドルピー安円高となり、期初に近い水準で期末を迎えました。

### ○国内債券市況

10年国債利回りは期初から2015年1月中旬にかけて、日銀による国債購入策の強化を背景に低下傾向(価格は上昇)となりました。しかし、1月中旬の国債入札が不調だったことをきっかけに市場の流動性に対する警戒が高まり、3月中旬にかけて利回りは上昇(価格は下落)しました。7月以降はギリシャのユーロ離脱懸念や中国株の下落を背景にリスク回避姿勢が強まったこと、8月の中国人民元の実質的な切下げを発端とした市場の混乱などから堅調となりました。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド(以下「インディア・エクイティ・オープン」ということがあります。)の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### ○インディア・エクイティ・オープン

インド株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、自動車株やたばこ株、エネルギー株の保有などがマイナス要因となりました。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持し、長期の債券の金利低下が相対的に大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

### 分配原資の内訳

(1万口当たり、税引前)

項目	第11期	
	2014年10月1日 ～2015年9月30日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	5,113	

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) —印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### ○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインディア・エクイティ・オープンの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### ○インディア・エクイティ・オープン

インド経済については、強気の長期見通しを維持しています。金利の低下と投資の増加に支えられ、成長率の伸びが高まる過程にあると見ています。また、補助金ではなく投資を通じた景気刺激策により、長年にわたって質の高い経済成長が実現することが期待されます。企業業績は緩やかながら改善傾向をたどり、今年度末にかけて勢いを取り戻すことが見込まれます。政策対応の進展や景気の動向に着目しつつ、選別投資を行って参ります。

### ○イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるBofA Merrill Lynch 国債インデックス(1-10年債)を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。インフレ率の低迷や日銀による金融緩和政策などから国債利回りは低位で安定的に推移すると思われませんが、バリュエーション面で割高になっていることや米国の利上げなどのリスクを鑑み、デュレーションの短期化を図っていく方針です。

## お知らせ

○運用報告書(全体版)の交付に代えて、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法による提供を可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。

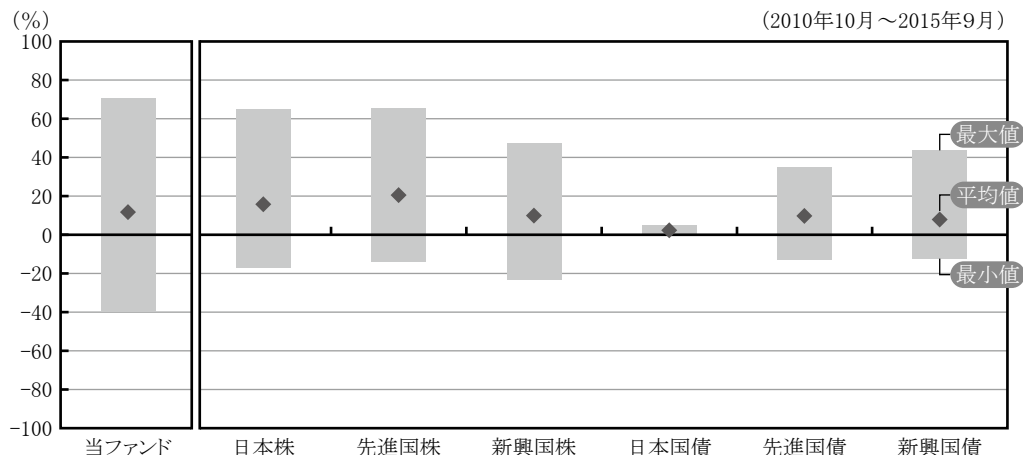
(変更日:2014年12月1日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2004年9月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主にインドの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド」の米ドル建て投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(9月30日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(%)	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	11.7	15.8	20.5	9.9	2.3	9.7	7.9
最大値	70.8	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	-39.8	-17.0	-13.7	-22.9	0.4	-12.7	-12.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年10月から2015年9月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。  
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株: 東証株価指数(TOPIX) (配当込み)

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債: JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

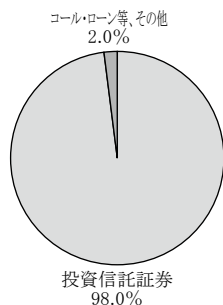
#### ○組入ファンド

(組入銘柄数:2銘柄)

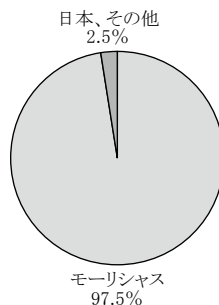
ファンド名	第11期末 2015年9月30日
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド	97.5%
イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)	0.5%

(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

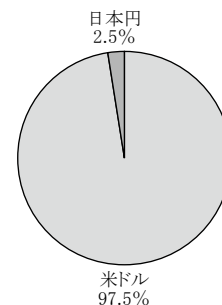
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

### 純資産等

項目	第11期末 2015年9月30日
純資産総額	89,835,650,385円
受益権総口数	65,891,442,477口
1万口当たり基準価額	13,634円

\* 当期中において追加設定元本額は28,296,110,521円、一部解約元本額は17,655,092,583円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ◆イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッド

(計算期間 2013年9月1日～2014年8月31日)

#### ○基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



#### ○組入上位10銘柄

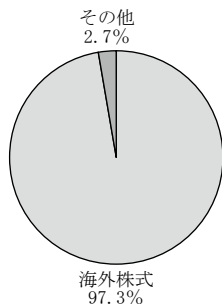
(組入銘柄数:35銘柄)

銘柄名	業種	国・地域	比率
ICICI Bank Ltd	銀行	インド	9.7%
Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	8.5%
Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	6.9%
ITC Ltd	食品・飲料・タバコ	インド	6.5%
HDFC Bank Ltd	銀行	インド	4.8%
Tata Motors Ltd	自動車・自動車部品	インド	4.6%
Housing Development Finance Corporation Ltd	銀行	インド	4.1%
Mahindra & Mahindra Ltd	自動車・自動車部品	インド	4.0%
Coal India Ltd	エネルギー	インド	3.4%
Dr Reddy Laboratories Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.3%

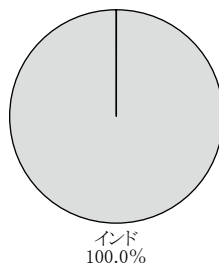
#### ○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・エクイティ・オープン・リミテッドのFinancial Statements(監査済み)には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

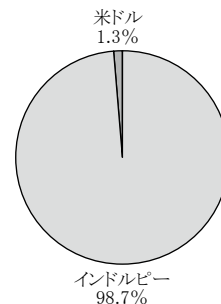
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## ◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)

(計算期間 2014年2月26日～2015年2月25日)

### ○基準価額の推移



### ○組入上位10銘柄

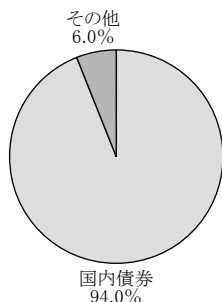
(組入銘柄数:27銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.6%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.3%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.1%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.7%
第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.7%
第69回利付国債(20年)	国債	日本	4.3%
第280回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%

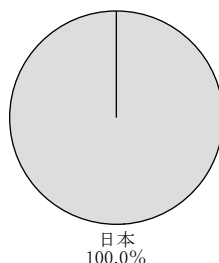
### ○1万円当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬 (投信会社)	23円 (15)
(a) 信託報酬 (販売会社)	(2)
(a) 信託報酬 (受託会社)	(6)
(b) その他費用 (監査費用)	3 (3)
合計	26

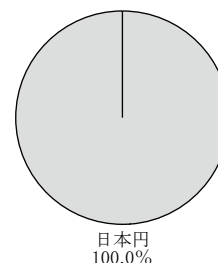
### ○資産別配分



### ○国別配分



### ○通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万円当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、費用項目の概要および注記については、2ページの「1万円当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年2月25日現在のものです。

(注3) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

## 指数に関して

### ○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型 I (適格機関投資家向け)」のベンチマークについて

- ・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

### ○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

- ・東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
- ・MSCI指数(MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス)はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPIは、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。
- ・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- ・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。